



＝ 恭 寿 新 春 ＝



第51回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会



(一社) 栃木県子ども会連合会 会長 内藤 進

通称「関ブロ大会」と呼ばれていますが、正式名称は表題の通りです。栃木県子連として、平成30年度の大きな大会であるこの関ブロ大会で掲げた、「もっと輝け!! 育成会」のテーマに対して議論を深め、指針を示した大会と考えています。大会実行委員会、各市町子連、事務局の三位一体の成果と確信しています。そして各県から参加いただきました、子ども会育成者皆さんのご意見、ご提案が大きな力となりましたことに感謝申し上げます。

今大会で様々な意見交換が行われ、各分科会で意見集約され、最終日の報告会に繋がりました。分科会の報告、次期開催県への開催旗伝達式で全日程が終了しましたが、関ブロ全10県の皆さんが最後まで参加していただき盛り上がった大会になりました。

今の子ども達に対して私たち育成者、指導者は何ができるのだろうかを問う大会でもありました。子ども達一人一人が自立し自律でき、自信を植え付ける方法を模索し実践してきましたが、自己肯定感を高めることが自信を高めることになるのではないかと考えました。

- 子ども達の自己肯定感を高めるキーワードは、
- ★「褒める・認める（自分の力を実感させる）」
 - ★「よさを見付ける（多様な価値観に気付かせる）」
 - ★「可能性を広げる（色々な体験をさせる）」
 - ★「励ます（目標を持たせる）」
 - ★「かかわる（安心・安全を伝える）」



等が挙げられます。このキーワードを網羅し、そして異年齢集団活動を加えた体験活動を実践していただければと思います。

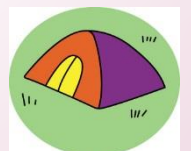
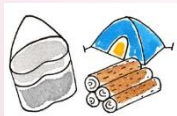
それを体験できる一つの事例として、キャンプ体験活動を提案したいと思います。この活動は、参加した子ども達、運営する育成者・指導者、参画するジュニアリーダーの皆さん、この三者を成長させる場を提供してくれるでしょう。

様々な体験活動があります。それらをうまく取り入れて、子ども達が自信を付けて活動が終了することを期待したいです。

各種大会、研修会を通して各自がスキルアップを計り、その成果を県子連、市町子連、単位子ども会育成会に反映させて頂ければと思います。子ども会に携わる皆様には自分磨きをして、それを周りの皆さんに分けていただければ幸いです。

本年も県子連役員・指導委員、市町子連・単子の皆さんと手を携えて、子ども会・育成会をより良い組織・より楽しい組織にしていきたいと考えております。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



平成30年度「栃木の子どもをみんなで育てよう」運動フォーラム開催

主催：栃木県教育委員会 栃木県社会教育振興協議会

平成30年12月18日（火）13時～16時 於栃木県総合教育センター 大講義室

テーマ 子ども達の健やかな育ちを支える地域の大人の関わり
～子どもの主体性を尊重し自己肯定感を高めるために～



基調講演「自己肯定感を高める子供の頃の体験や大人の関わり
～学校・家庭・地域でできることは何か？～」

講師：国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター研究員 青木康太郎氏



子供たちの自己肯定感は年々高くなっているといえます。それは自分の存在価値や積極的に自分のあり方を評価できる感情が発達してきていることだといえます。確かに最近の子どもたちは、いかなるシチュエーションでも自分の主張を明確にできることが多い気がします。なぜ最近か？といえば、以前は国民性や価値観で自分に対する評価を低く見積もる傾向があったようですが、最近では小学校でも重視すべき発達課題の一つとしてカリキュラム化されていることや、自己主張を諭す家庭教育によるものかと考えられます。

そして自己肯定感が高い子どもの特徴は、学習意欲、授業理解度が高い子。友人関係が良好で進路の目標が明確な子。課外活動に積極的で教師などの大人との人間関係が良好な子。そんな子どもたちが上げられるようです。大変理想的な子どもたちですが、それこそが逆境に強く、いじめに屈することも少なく、失敗に動じない子どもでもあるようです。確かにこのタイプの子どもは堂々としていて、どんな場面でも生き活きと生活しています。ではどんな時期にどんな経験をすると、このような自己肯定感を育むことができるのか？ということですが、それは児童時期に地域や学校での異年齢交流や、体験活動、基礎学力の向上などで育まれるそうです。そしてその中で褒められて、認められて、励まされて更に自己肯定感は高まっていくようです。

さて、子どもたちの自己肯定感を高めるためにわれわれ子ども会として取り組めることは何か？ということが重要な課題となります。前記した異年齢交流活動、地域交流イベント、家族行事、いずれにしても、子どもたちと向き合う時間を積極的に作るお手伝いに徹することが我々の使命であると考えます。子どもたちが地域で健やかに育っていくことが、子どもたち一人一人の自己肯定感を高めていくことだと改めて確信致しました。

しかし、そうは言っても私には一つの懸念も残ります。子どもの自己肯定感を高めすぎてしまうことで問題は起きていないでしょうか？自己を高く評価するがゆえに他人を低く評価し軽視する。そしてまた、他人に比べて自分は有能で優れていると評価し、自己肯定感がより高まる。教育格差に深く関係している部分もあるような気もしますが、少し度を越えた自己肯定感を持つ子どもたちも、最近見ないわけではありません。

記：矢後紀夫（県子連副会長）

第2回広報委員会開催

12月26日（水）19時より県子連事務所にて開かれました。
各市町子連から寄せられた10件の活動情報等を基に「子ども会 栃木」第12号の発行に向けて、準備が進められました。



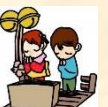
新青少年教育施設の整備に係る意見交換会

1月8日（火）10時 県庁昭和館 多目的室

県教育委員会生涯学習課による標記意見交換会が開催され、県子連の会長・副会長が出席しました。県が5年後の完成を目指してみかも山公園内北東部に建設を予定している新しい青少年教育施設について、県子連としての要望や意見などを県に伝えてきました。子ども会での活用も期待されます。



～～ INFORMATION ～～



※平成31年1月13日（日）10時 第2回J・L研修会準備委員会 県子連事務所にて
※平成31年1月18日（金）関ブロ地区会長・事務担当者会議（関ブロ主催・栃木県子連主管）
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

★1月18日（金）は、上記会議出席のため、県子連事務局は不在になります。

※平成31年1月19日（土）～20日（日）子ども会安全啓発中級指導者養成講習会（代々木にて）
※平成31年1月27日（日）栃木県ジュニア・リーダー研修会 会場：とちぎ青少年センター
※平成31年2月8日（金）14時 2019年度子ども会安全共済会説明会 教育会館1F中会議室
※平成31年2月10日（日）子どもの体験活動における「ケガ防止対策」指導者養成講習会
会場：とちぎ青少年センター 〆切は2月1日（金）定員60名、先着順 まだ空き有り。